

# まちの話題

## 矢部地区体協対抗ソフトボール大会

(9/12～14)

壮年の部 優勝 浜町C体協

青年の部 優勝 御岳体協



**えびすばーなから寄付**  
えびすばーな矢部店を運営する誠勢同動(株) (和田隆文代表取締役) から山都町へ福祉関連の物品寄付があり、10月7日、引き渡し式が山都町役場で行われました。同社専務取締役の赤澤真哉さんが「お世話になってい地域の方々への恩返しの一つとして寄付いたします。」とあいさつ。介護用シャワーいすやテーブルなどの福祉用品15品が甲斐町長に贈呈されました。寄付いただいた備品は社会福祉協議会などで活用されます。



甲斐町長に福祉用品を渡す赤澤さん(左)

## 伝承遊びで交流

9月11日、中島東部地区の住民ら約60人が、竹馬と水鉄砲作り挑戦しました。金内公民館で行われたこの催しは、伝承遊びを通じて、子どもたちを地域で見守る機運を盛り上げようと、山都地区少年ボランティア連絡協議会などが企画して行われました。町内の少年補導員や中島東部地区の老人会メンバーらが、製作に汗を流しました。竹馬や水鉄砲が出来上がると、子ども達は喜んで遊びました。お昼にはバーベキューも振る舞われました。



水鉄砲を楽しむ参加者

## 新あいさつのぼり旗

10月11日、民生児童委員協議会(橋本教嗣会長)の全体会議が蘇陽総合支所で行われ、新しいあいさつのぼり旗30本が披露されました。民生児童委員協議会では、町内9つの小学校で登下校時のあいさつ運動を実施、今年で7年目を迎えました。のぼり旗には「笑顔あふれる元気な山都っ子」という標語が書かれています。同協議会では、これからののぼり旗を活用して、学校・保護者と協力し、毎日元気なあいさつを交わして、児童を見守っていきます。



新しいのぼり旗と民生児童委員のみなさん

## 地域安全出発式

10月11日から20日に実施された全国地域安全運動。山都警察署では「DOYO組」の矢部清子さんを一日署長に迎え、出発式が行われました。矢部清子さんは「この町は県内で事件事故が一番少ないと聞きました。それは皆さんの日頃の活動のおかげです。町を愛する気持ちが大切。私も童謡を歌うことを通して地域の安全に貢献したい」とあいさつ。明光保育園園児と一緒に童謡「犬のおまわりさん」を披露しました。このあと防犯ボランティア団体「山守りやさしか隊」の後藤春樹隊長が出発申告をし、車両15台で町内パトロールに出発しました。



明光保育園園児と歌う矢部さん(左端)

## 消費者の声を直接聞くために

9月25日、山都町青年農業者クラブが、イオンモールクレア(嘉島町)で農産物の直接販売に臨みました。これは、上益城農業青年農業者クラブが昨年引き続き催したものです。年に一度行われるこの販売会では、自ら育てた農産物を収穫し持ち込みます。この日山都町からは、キャベツ、ミニトマト、カボチャが出品されました。山都町青年農業者クラブの岩永圭士会長は「自慢の農産物の説明をしながら販売するのはとても難しい。でも、消費者の方々の考えを直接聞くことができ、良い機会」と今後も継続して取り組む意欲を話してくれました。



山都町青年農業者クラブのみなさん

## 柳家花緑独演会

9月12日、馬見原小体育館で柳家花緑独演会が開かれ、350名を超える地域の方々、花緑さんの落語を楽しみました。柳家花緑さんは、一昨年テレビ番組の企画で山都町を訪れたあとも馬見原商店街の方々と交流が続き、地域の方々に一流の噺家の落語を聞かせたいという馬見原街づくり協議会からの依頼を快諾、今回の独演会開催となりました。独演会に先立ち、馬見原小児童への特別授業も行った花緑さんは「また来たいと思うのは人柄。この子どもたちは素晴らしい。」と大絶賛。シャレタ男はシャレタ街をますます好きになつてくれたようです。



巧みな話術で会場は終始笑いが絶えませんでした。

## 笑いとやしのふれあい祭り

9月25日、潤徳小学校体育館で、御岳西部自治振興区主催の「笑いとやしのふれあい祭り」が開催されました。開会行事のあとに行われた講演会では、前熊本県知事で長崎国際大学学長の潮谷義子さんが講演しました。「先の大震災ではいろんなものが壊されたが地域のコミュニティは残った。老いても若くても、仲間を作り、役割を持って地域で生きていくことが生きがいにつながる」といろいろな資料を提示しながらわかりやすく語りかけました。祭りではこのほか、やっちゃん一座(目丸)の演劇や中江岩戸神楽(阿蘇市波野)の公演も行われました。



講演する潮谷義子さん

## 忘れられないコンサート

山都町子どもたちに素晴らしい芸術文化に触れてもらうために活動しているボランティア団体「時の橋」がNHK交響楽団第1コンサートマスターの篠崎史紀さんなど国内のトッププレイヤーを招いて開くスクールコンサートが10月6日、7日に町内の小中高校生を対象に開かれました。6日に蘇陽中学校で行われたコンサートでは、清和・蘇陽地区の小中学生と蘇陽高校3年生が国内最高峰の演奏を堪能しました。アンコールでは蘇陽高校歌が演奏され、3月に最後の生徒として卒業する蘇陽高3年生にはすてきなプレゼントとなりました。



素晴らしい演奏を聴かせてくれました。(左端が篠崎史紀さん)